

# 【資格の大原 静岡校・沼津校】

## 2021年宅建士試験 合格者インタビュー



Ryou Nishigaya

### 西ヶ谷 諒

2021年 宅建士合格コース・入門パック  
静岡校受講

2021年 宅建士試験 合格（受験回数1回）

キャリア形成のため宅建士資格の取得をめざし、仕事との両立をはかりながら受験勉強をスタートさせる。どんなに仕事で遅くなっても、とにかく授業には出席。また、授業がない日は、大原校内の「学生ホール」で、夜、自主勉強をすることを習慣化。その結果、本試験では37点を獲得し、みごと一発合格を達成！今回、西ヶ谷さんに宅建士の受験に関し、仕事帰りにざっくばらんに話して頂きました。

#### ■受験の動機

—— 受験の動機を教えてください。

西ヶ谷 自分のキャリア形成にあたり、少しでもプラスになることを勉強したいと思い、国家資格である宅建士の資格取得をめざしました。特に現在の仕事に活かすため、と言うわけではなく、どちらかという将来に備えて、といった感じです。

#### ■勉強に関して

—— 法律に関して、今まで勉強したことはあったのですか？

西ヶ谷 大学の一般教養科目の中に「民法」はありました。ただ、本当に勉強をしたか？と言われるとしっかり勉強したとは言えません。また、正直、今まで勉強をしっかりするタイプではなかった。宅建士の勉強を始めた当初は、「果たして勉強をしっかりできるかどうか?!」や「勉強の仕方はどうしたらよいのか?!」など不安があり、実際、苦戦したこともありました。

—— どのようにして勉強の習慣をつくったのですか？

西ヶ谷 「一発合格シート」が役立ちました。今まで自分の勉強の記録を付けることなどやったことはありませんでしたので、自分のやった勉強を記録として残し、勉強の進捗度を視覚化することはよかったと思います。勉強をやっていない日が、一目瞭然となりますので。そんな時は危機感と同時に「やろう！」という気持ちになりました。

—— 勉強が軌道に乗ってきたな、と思えるようになったのはどのくらいですか？

西ヶ谷 入門期から受講したのですが、最初の内は、勉強の習慣化や暗記を必要とするところは苦戦しました。ただし、基礎期の『宅建業法』に入った時から軌道に乗ってきたと思います。勉強の習慣が出来ていない私にとっては、入門期から入ってよかったと思います。



—— 受験勉強の中で特に苦慮したことは何ですか？

西ヶ谷 仕事との両立と勉強時間の捻出については、かなり苦戦しました。やはり仕事がありますので、いかに土日の休みの日を使うか、ということに苦慮しました。ただ、メチャメチャ勉強したかという、他の人と比べるとそれほどではないかも知れませんが・・・まあ、自分としては結構、やったと思います。

また、科目では『権利関係』の攻略に苦戦しました。すんなり頭に入って来ないというか、範囲も広く、正直、難しいな、と感じました。実際に勉強をしている中で、宅建の受験勉強の途中で折れてしまう人はこの辺では・・・と思いました。授業の中で、石田先生から各分野の勉強の攻略法を聞いていなければ、自分自身も危なかったかもしれません。笑

今回の本試験でもやはり見たこともないような問題が出ていましたし、そのような問題も解けるように全てを網羅する勉強をすると、かなりの時間のロスになるな、と思いました。先生から授業中に、勉強に関する話をお聞きした時は気持ちが楽になりました。

## ■直前対策期

—— 直前対策期の問題演習で、周囲の受講生の方と短い時間ですが、問題について話し合う時間を設けましたが、率直にいかがでしたか？

西ヶ谷 短い時間でしたので、じっくりとお互いに教え合う、という訳ではありませんでしたが、私自身は、周囲の方と問題を確認し合うことで、自分の実力を客観的に診る時間となり、良かったです。

自分が理解できていて、周りの方が出来ていないような場合には、素直に自信を持つことができましたし、逆に、自分が理解できてない問題について、相手の方が出来ていたりすると、刺激になりました。笑

—— 模擬試験はいかがでしたか？

西ヶ谷 正直、この時点では合格点に達していませんでした。31～33点ぐらいでした。ただし、これは5問免除対策を一切していない（加点しない）状態での点数です。実際に5問免除対策の授業があったのは、本試験2週間ぐらい前だったと思います。今思えば、直前の勉強で正解だったと思います。余計な勉強時間を使うことなく得点できました。



## ■本試験当日。そして合格発表！

—— 本試験当日はいかがでしたか？

西ヶ谷 試験会場には、割と早めに行った方だと思います。それこそ先ほどの5問免除の統計問題対策のデータや石田先生から頂いたプリントをその場で改めて覚える、といった感じでした。それと、自分の弱点箇所をまとめたノートを確認する時間にあてました。

試験開始となり、予め自分が決めておいた順番で問題を解きました。ペース配分的には当初の予定より若干、最初の方で時間を使ってしまったということがあり、見直しの時間が短くなってしまいました。しかし、マークシートのチェックや全体的な見直しをすることは出来ました。

本試験が終わった後、カフェに行って解答速報を見ながら自己採点をしました。その後の大原を含む各学校が発表する合格予想点から、「あ、これ、いけたかな！」というのがありました。自己採点は37点でしたので、それでも万が一ということがありますので合格発表までは若干の不安はありました。

—— 最後に合格発表の時の気持ちとこれから宅建士合格をめざす方に一言、お願いします。

西ヶ谷 ここまで何かを集中してやる、という事は無かったので、合格を確認した時は、何か不思議な気持ちになりました。と同時に「やったー！」という、まさに痛快な気持ちでしたね。

今後は宅建士資格をひとつの武器として、さらなるキャリアアップを図りたいと思っています。

これから宅建士をめざす方に対しお伝えするとしたら、とにかく授業には出る、という事です。やはり教室の空気（氣）に触れることがモチベーションをキープし、勉強を続ける上で最も大切なことだと思います。それともうひとつは、「過去問を回す」ということです。権利関係は、石田先生から話があった基礎知識問題に絞って繰り返しやりましたが、その他は、問題集を7～8回転ぐらいやりました。是非、みなさんも合格をめざしてがんばってください！！



合格おめでとうございます！ 今後、益々の西ヶ谷様のご活躍を祈念しております！

(実施日) 2021年12月8日(水)

(場所) 資格の大原 静岡校